



感染管理認定看護師 東埼玉総合病院

感染管理は見えないものを数値で可視化できるのが他にはない特徴です

松村 千秋 さん
感染制御室 勤務
看護師歴:36年

コロナ禍で奔走。未曾有の事態に 医療従事者と患者さんを感染から守る

院内全体の感染対策を担う エキスパート。指導やサポートも

感染管理認定看護師は、病気やウイルスからの感染リスクを最小限に抑えるために、感染に関する知識と技術を備えた看護のエキスパート。病院に勤務する医療従事者と患者さんを感染から守る役割を担い、感染に関する指導やサポートを行っています。

自身の闘病経験から 感染管理認定看護師をめざす

私が感染管理認定看護師を目指したきっかけは、私自身が大病を患い、その際患者の立場から正しい感染対策が重要であると実感したからです。

2008年から感染管理認定看護師として、院内の感染対策教育を実践し、さまざまな改善に取り組みました。成果や手応えを感じていたそんな折、新型コロナウイルスが世界規模で大流行し、生活が一変。当院でも、感染症病床や発熱外来を設け、私は感染管理認定看護師として、発熱者に対する受診フローや受け入れマニュアル作成、院内でクラスタが発生すれば治療や隔離期間

などのコンサル対応、さらに保健所や他施設からの相談や要請などに奔走しました。

コロナ禍を経て

感染管理の重要性が広がった

私たち医療従事者も未経験の事態であつたため、手探りで対策を考えなければならず、感染の不安や恐怖、緊張とさまざまな想いで働いていました。感染管理の責任者として「私がやらなかつたら、誰がやるの」そんな使命感と責任感で乗り切りました。

コロナ禍の経験を通して、感染対策の強化、継続の重要性が広く認知されました。感染管理認定看護師は、院内全体を俯瞰して捉え、医療従事者と患者さんを守るために、組織横断的に活動します。実施した取り組みの成果があがったときはやりがい

を感じますね。

看護職はさまざまな経験を積みながらキャリアアップできる仕事です。私も子育てをしながら認定看護師の資格を取得しました。看護を通して、人生の視野が広がりに豊かになる素晴らしい職業です。

高校生のみなさん、夢に向かってまずは一歩踏み出してみましょつ。見えていなかった道が見えるかもしれません。頑張ってください。



コロナ疑いの患者さんの検体は、病院外でテントを張り採取していました。チームの仲間と。



定期的なラウンドは感染管理における大事な業務のひとつ。物品が適切に保管されているかをチェックします。

Hospital Data

〒340-0153
埼玉県幸手市吉野 517-5
TEL 0480-40-1311 (代)
URL <https://saitama.jinai.jp/>

Hospital Information

感染管理認定看護師は2名、その他緩和ケアや糖尿病等の分野で認定看護師が多数活躍する、高いレベルを目指す看護師を全面的にバックアップしている病院です。

当院ホームページもご覧ください。